

「福井市中心市街地活性化に関する意識調査」結果報告

(※当調査では、中心市街地を「順化」「大手」「中央」地区と位置付ける。)

1. 調査目的 新たな中心市街地活性化基本計画が策定される際の参考とすべく、中心市街地に求められるニーズ、担うべき役割などについて調査を実施。

2. 調査方法 (1) 街頭聞き取り調査 (実施日：平成 24 年 7 月 28 日 (土))
通行客・来館者に調査回答を依頼。

【調査地点 (5 地点)】

福井駅構内／福井西武前／エルパ／ベル／パリオ

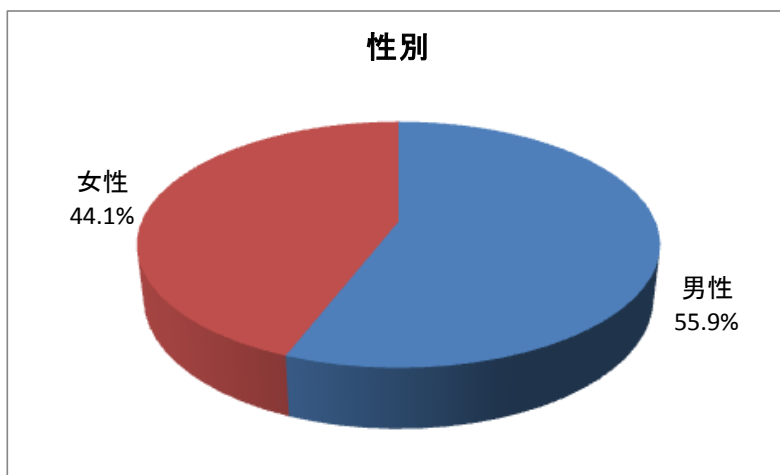
(2) 企業従業員への調査 (期間：平成 24 年 7 月 20 日 (金) ～8 月 6 日 (月))
会員企業の従業員に調査回答を依頼。

3. 調査対象 福井県民 など

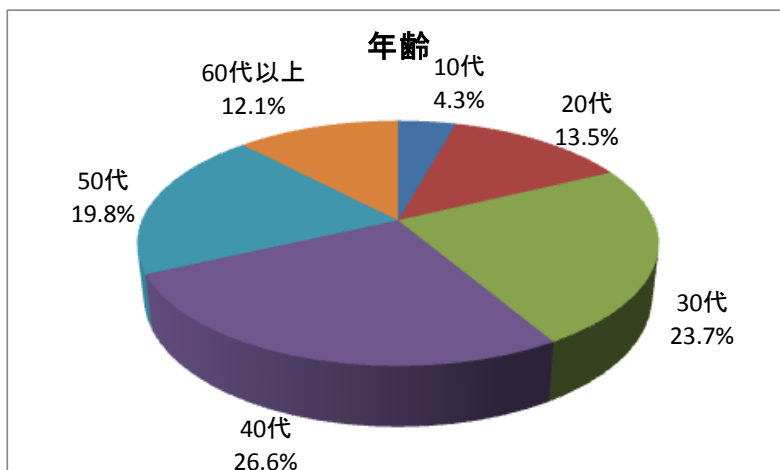
4. 回答数 2,436 件

5. 属性

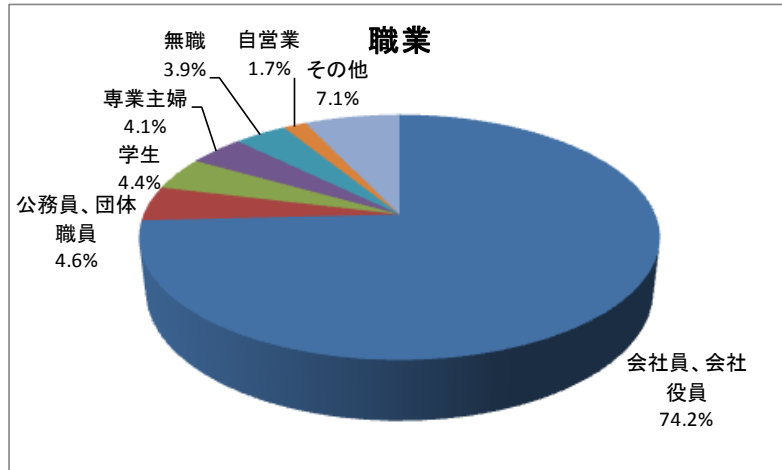
(1)性別



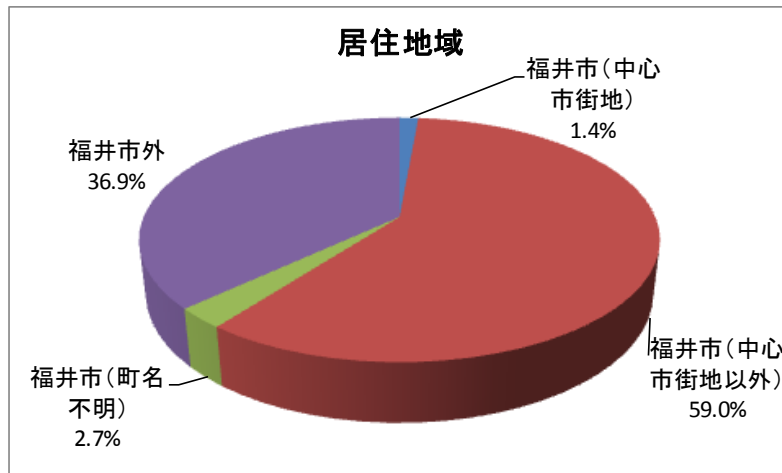
(2)年齢



(3) 職業



(4) 居住地域

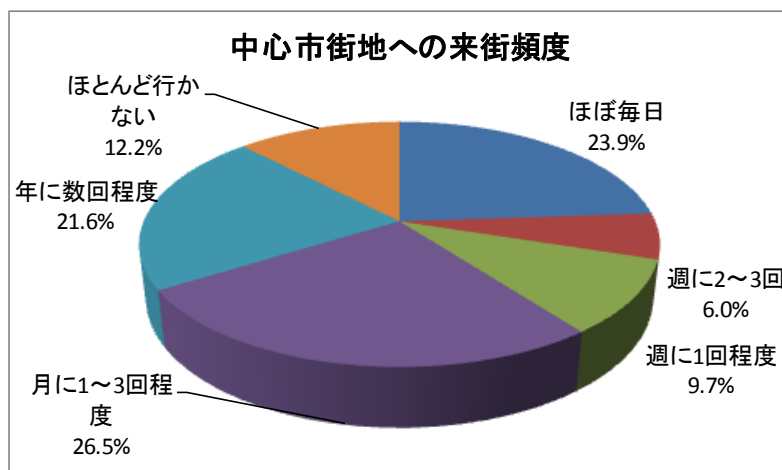


6. 調査結果

(1) 中心市街地への来街頻度

中心市街地への来街頻度について、最も多かったのが「月に1~3回程度」で26.5%、続いて「ほぼ毎日」が23.9%であった。「週に1回以上」（「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回程度」の合計）は39.6%と約4割を占めた。

年齢別で見ると、10代と60代以上の来街頻度は高い。（「週に1回以上」について、10代では53.9%、60代以上では51.4%であった）

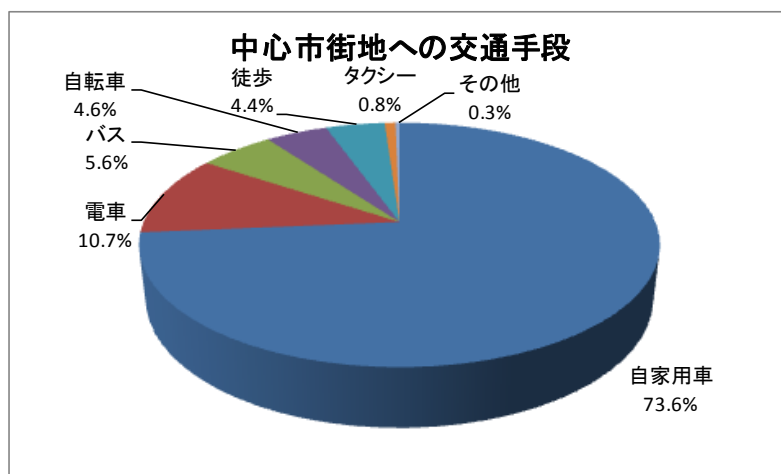


(2) 中心市街地への交通手段

中心市街地への交通手段については、最も多かったのが「自家用車」で 73.6%と全体の 3/4 を占めた。続いて、「電車」が 10.7%、「バス」が 5.6%であった。

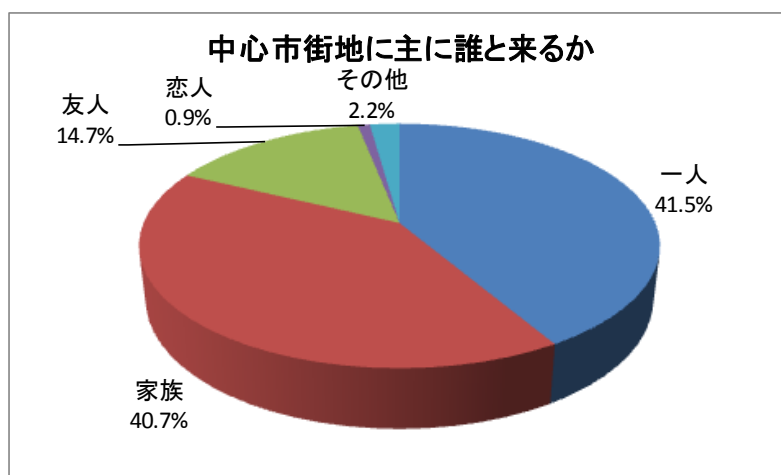
年齢別で見ると、公共交通機関（電車・バス）の利用は 10 代で多く、続いて 60 代以上であった。（「10 代・電車」 31.3%、「10 代・バス」 17.2%、「60 代以上・電車」 9.7%、「60 代以上・バス」 13.9%）また、30 代以降は年齢が上がるにつれて、自家用車利用が下がっている。

調査地点別に「中心市街地（福井駅、西武福井店）」と「郊外 SC（エルパ、ベル、パリオ）」を比較すると、「中心市街地」来街者では「自家用車」（43.6%）が少なく、「電車」（22.1%）が多かった。（「郊外ショッピングセンター」来館者では、中心市街地への交通手段について「自家用車」（73.1%）、「電車」（10.2%）であった。）



(3) 中心市街地に主に誰と来るか

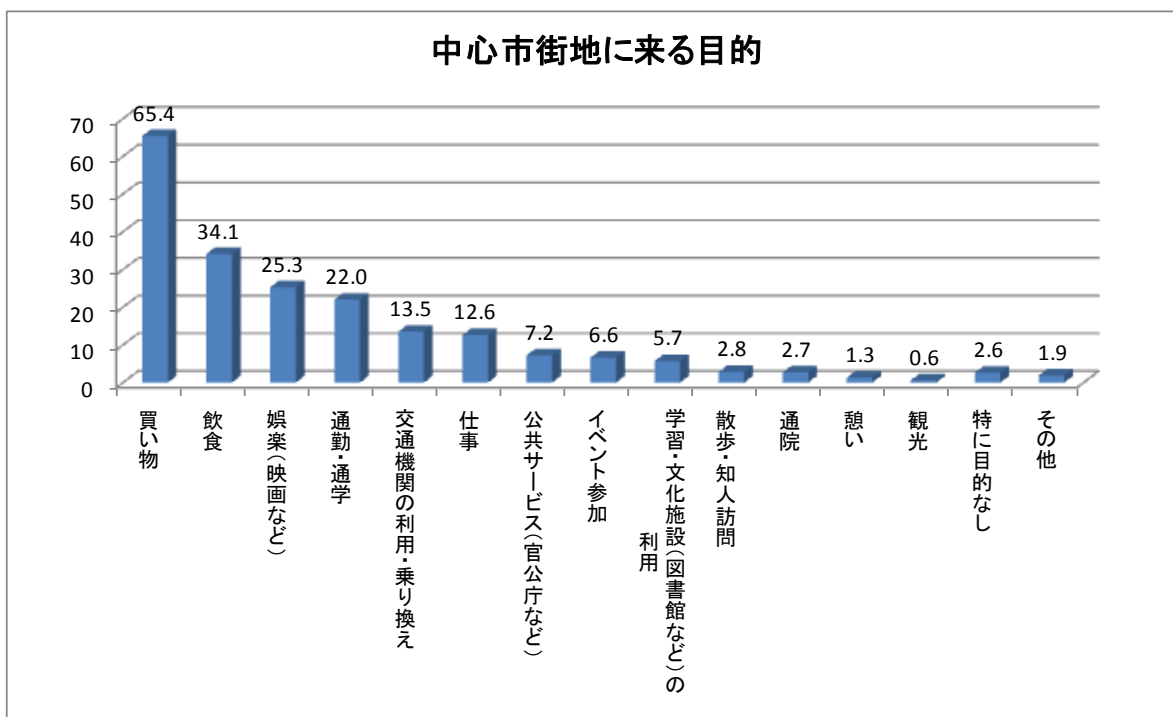
中心市街地への来街形態については、「一人」が 41.5%、「家族」が 40.7%と多かった。



(4) 中心市街地に来る目的（複数回答）

中心市街地への来街目的について、「買い物」が 65.4%と半数以上を占め、最も多かった。続いて、「飲食」（34.1%）、「娯楽（映画など）」（25.3%）、「通勤・通学」（22.0%）であった。

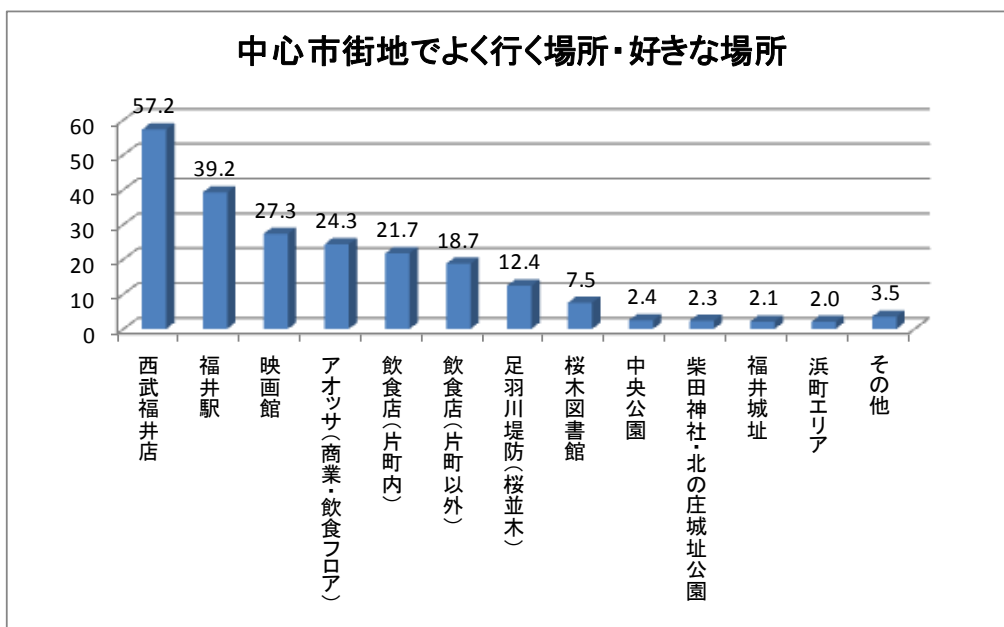
居住地域別（「中心市街地」「中心市街地以外」）で見ると、中心市街地居住者は、全体平均と比べて、「買い物」が 87.5%、「飲食」が 50.0%、「散歩・知人訪問」が 15.6%と多かった。



(5) 中心市街地でよく行く場所・好きな場所(複数回答)

中心市街地でよく行く場所・好きな場所について、「西武福井店」が 57.2%と半数以上を占めた。次に、「福井駅」(39.2%)、「映画館」(27.3%)、「アオッサ(商業・飲食フロア)」(24.3%)、「飲食店(片町内)」(21.7%)であった。

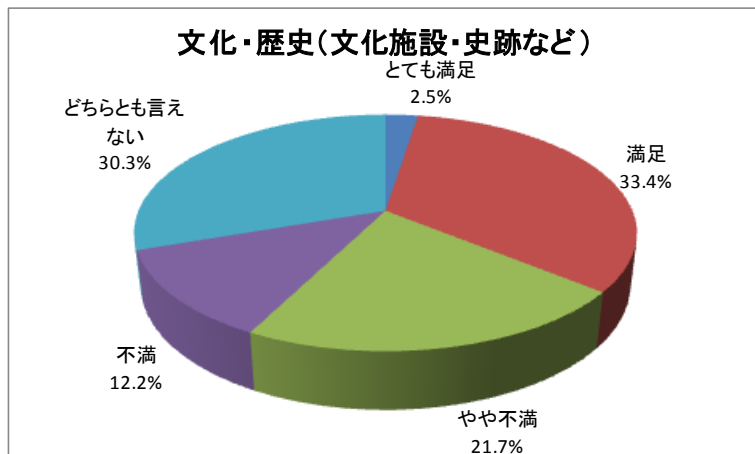
年齢別で見ても、すべての年代で「西武福井店」が最も多かった。また、「アオッサ(商業・飲食フロア)」が10代(58.2%)、60代以上(37.0%)で多かった。



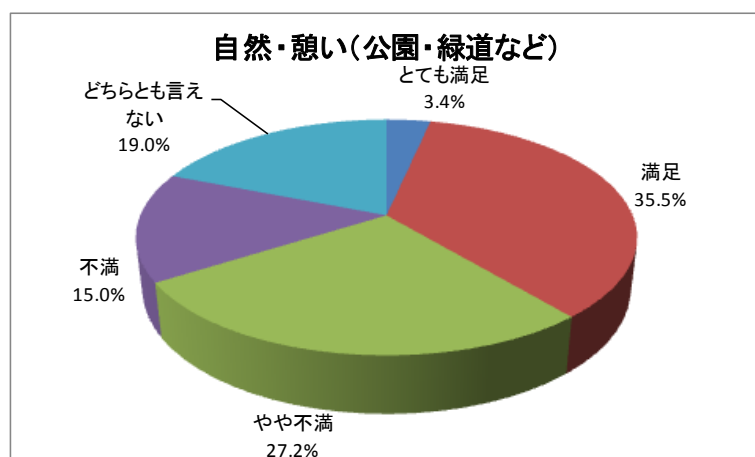
(6) 中心市街地の各機能に関する満足度

※満足DI値＝「とても満足」「満足」の合計－「不満」「やや不満」の合計

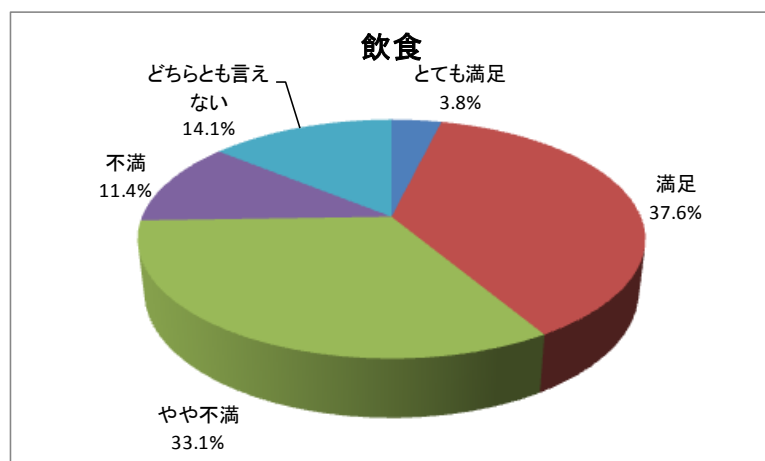
①文化・歴史（文化施設・史跡など）・・・「満足DI値」2.0%ポイント



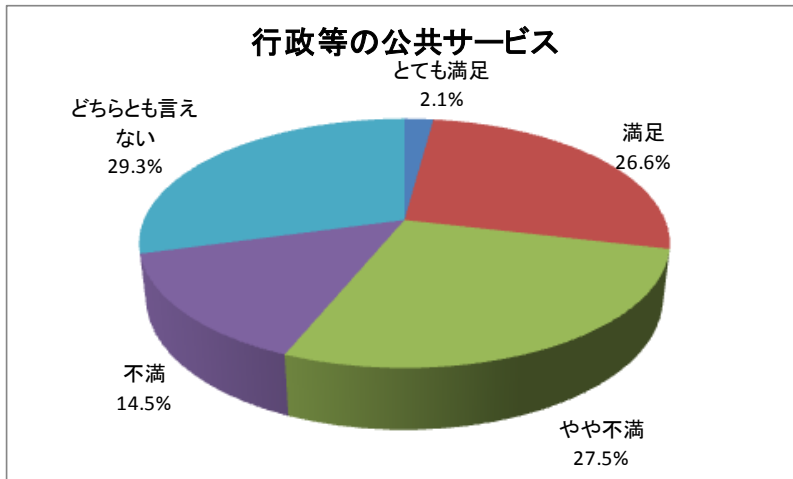
②自然・憩い（公園・緑道など）・・・「満足DI値」－3.3%ポイント



③飲食・・・「満足DI値」－3.1%ポイント



④行政等の公共サービス・・・「満足DI値」-13.3%ポイント

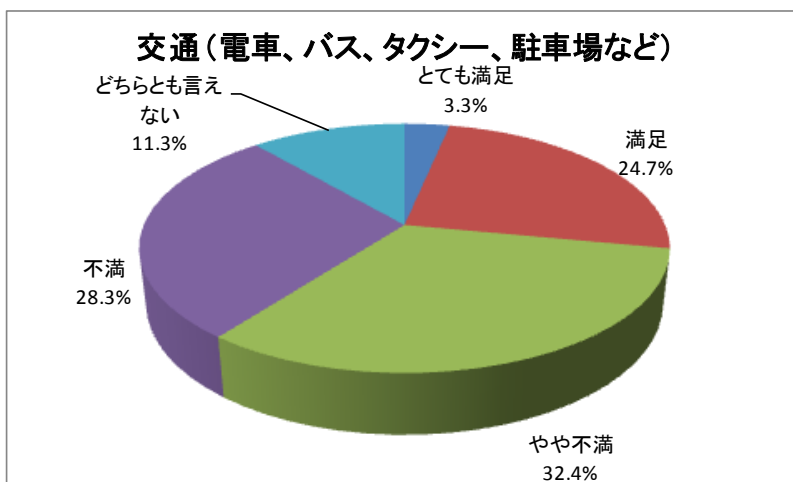


⑤交通（電車、バス、タクシー、駐車場など）・・・「満足DI値」-32.7%ポイント

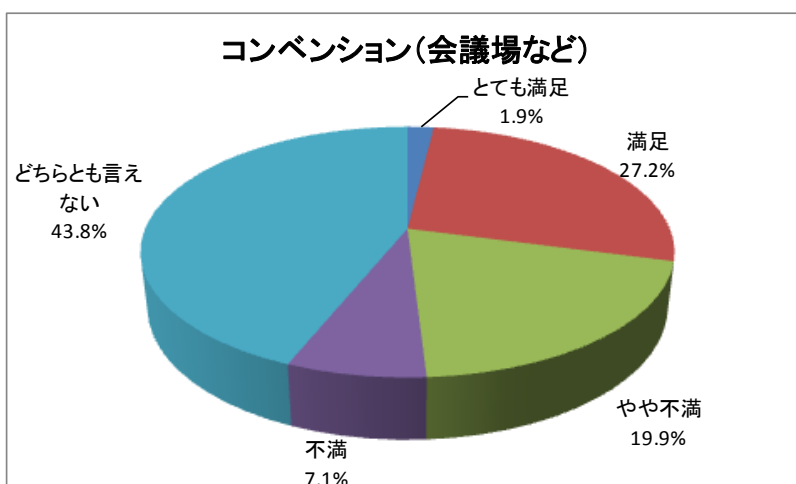
交通手段別で見ると、電車・バス利用者の「交通」機能への満足度は非常に高い。

「電車」・・・「とても満足」9.1%、「満足」36.4%、

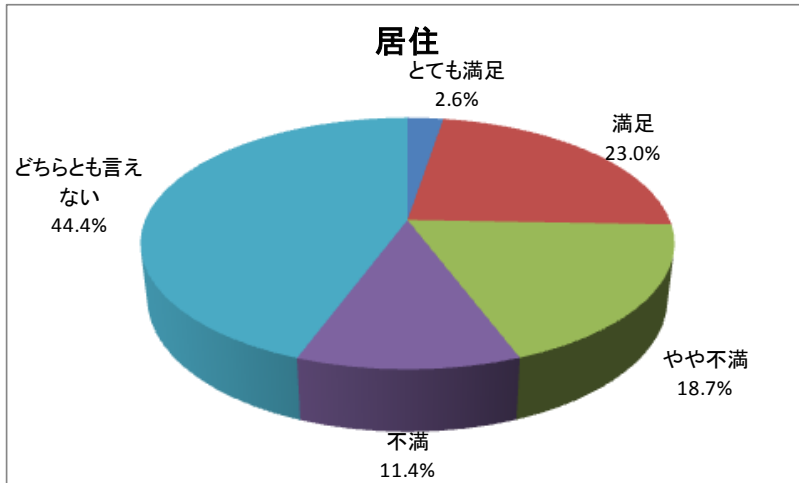
「バス」・・・「とても満足」5.4%、「満足」32.6%



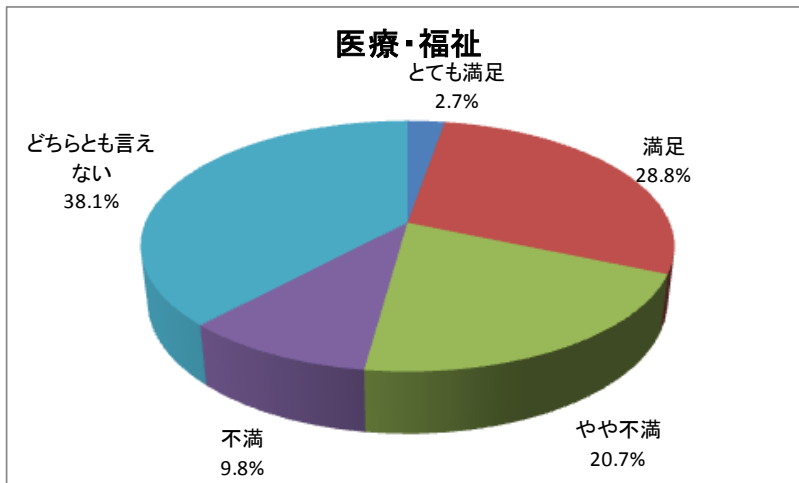
⑥コンベンション（会議場など）・・・「満足DI値」2.1%ポイント



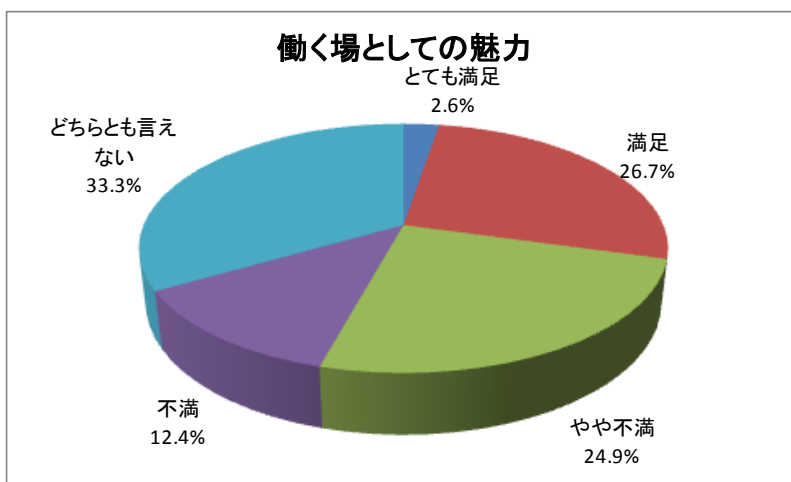
⑦居住・・・「満足D I 値」－4.5%ポイント



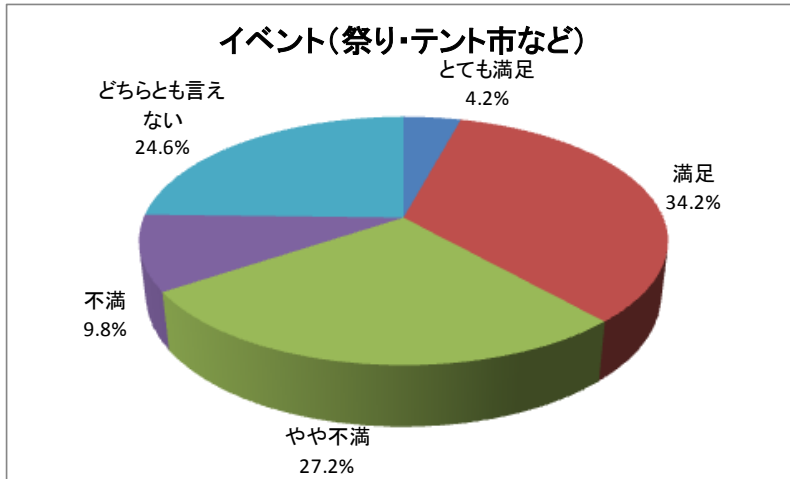
⑧医療・福祉・・・「満足D I 値」1.0%ポイント



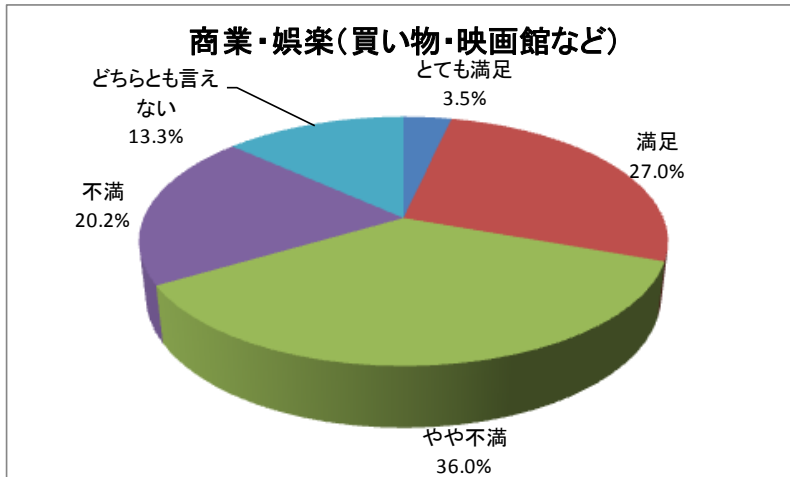
⑨働く場としての魅力・・・「満足D I 値」－8.0%ポイント



⑩ イベント（祭り・テント市など）・・・「満足DI値」1.4%ポイント



⑪ 商業・娯楽（買い物・映画館など）・・・「満足DI値」-25.7%ポイント



⑫ 全体比較

各項目の「満足DI値」（「とても満足」「満足」の合計－「不満」「やや不満」の合計）を低い順に並べたものが下記表である。

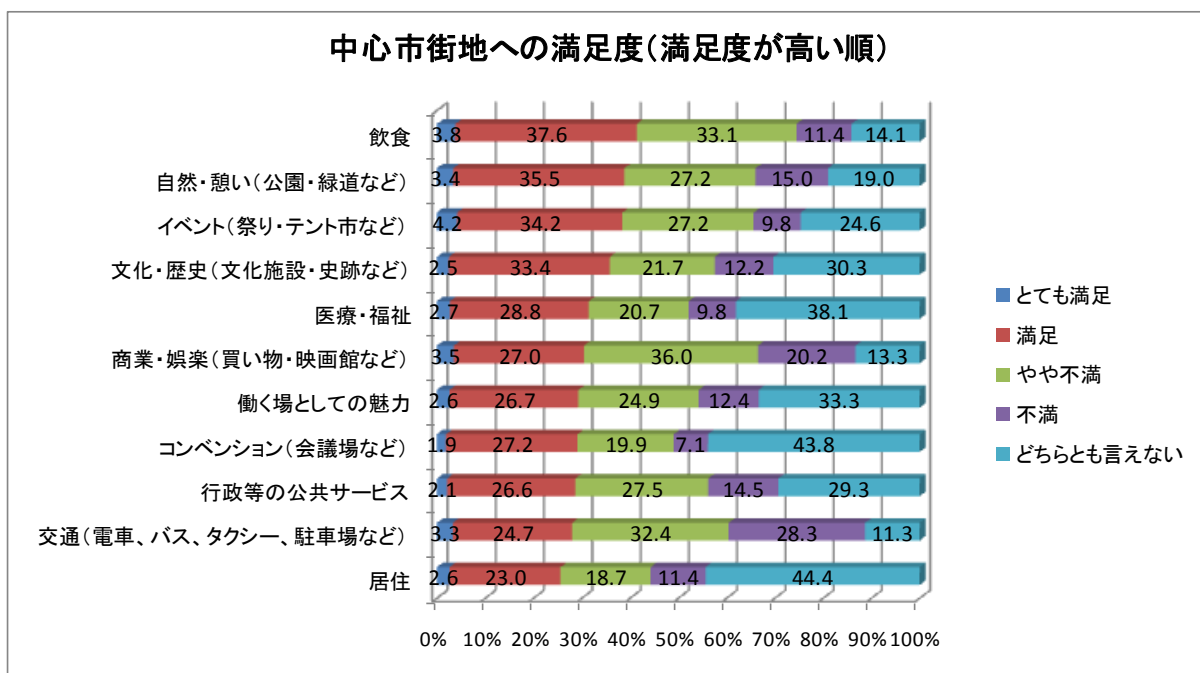
最も低かったのは、「交通（電車、バス、タクシー、駐車場など）」機能が-32.7%ポイントであった。続いて「商業・娯楽（買い物・映画館など）」機能が-25.7%ポイント、「行政等の公共サービス」機能が-13.3%ポイントであった。「交通」「商業・娯楽」機能への満足度が特に低く、今後の改善が求められている。

	機能	満足DI値
1	交通（電車、バス、タクシー、駐車場など）	-32.7
2	商業・娯楽（買い物・映画館など）	-25.7
3	行政等の公共サービス	-13.3
4	働く場としての魅力	-8.0
5	居住	-4.5
6	自然・憩い（公園・緑道など）	-3.3
7	飲食	-3.1
8	医療・福祉	1.0
9	イベント（祭り・テント市など）	1.4
10	文化・歴史（文化施設・史跡など）	2.0
11	コンベンション（会議場など）	2.1

中心市街地への満足度が高い順（「とても満足」「満足」の合計が多い順）に各項目を並べたものが下記グラフである。

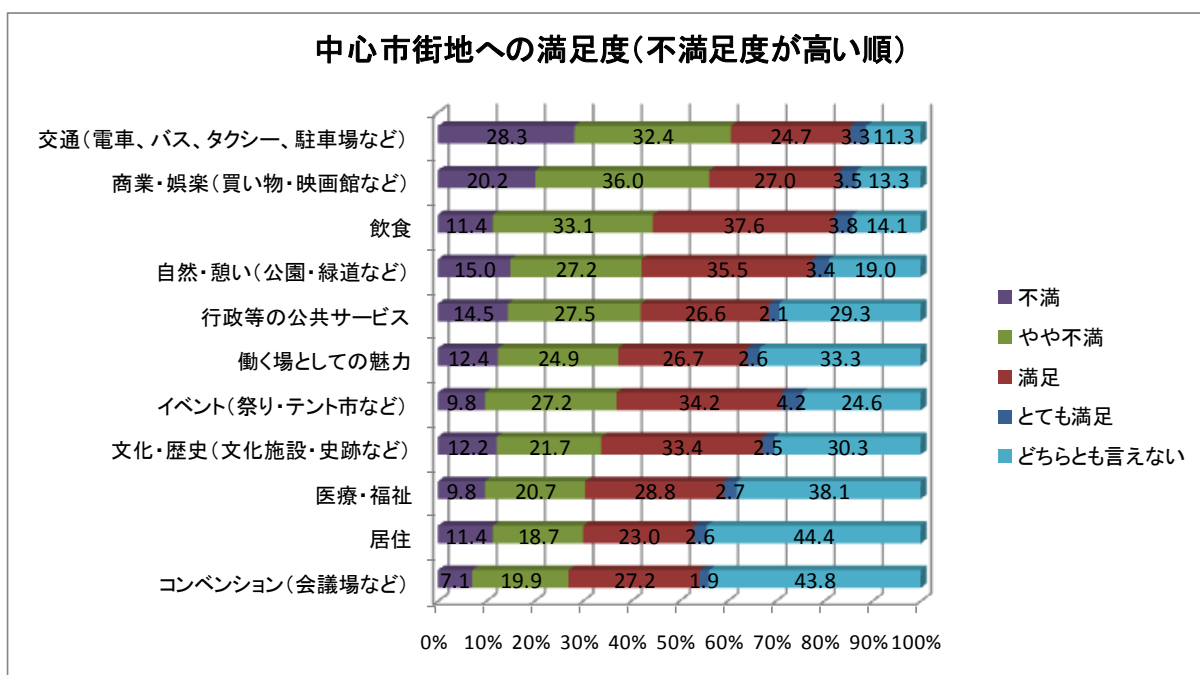
「とても満足」は全項目において1割にも満たなかった。

また、「とても満足」と「満足」を合計した場合、最も多いのは「飲食」機能（41.4%）であった。しかし、その割合は41.4%と半数を割り込み、中心市街地の機能全てについての満足度の低さが伺える。



不満足度（「不満」と「やや不満」の合計）については、「交通（電車、バス、タクシー、駐車場など）」機能が60.7%、「商業・娯楽（買い物・映画館など）」機能が56.2%と高かった。

しかし、これら2つの項目は、「どちらともいえない」がともに約10%と他項目と比べると低く、「満足」「不満」を別にして、関心が高いことが伺える。（「飲食」機能も「どちらともいえない」が14.1%と低く、関心の高さが伺える。）



また、各機能への主な要望としては下記が挙げられていた。(詳細は後述の自由意見「中心市街地に期待する機能」参照)

「交通」・・・「駐車場の無料化・増設」「電車・バスの運行本数増便」「電車の終電時間延長」など
「商業・娯楽」・・・「大型商業集積（SC、家電量販店等）の誘致」「店舗の営業時間延長」
「スポーツ系娯楽施設の誘致」など

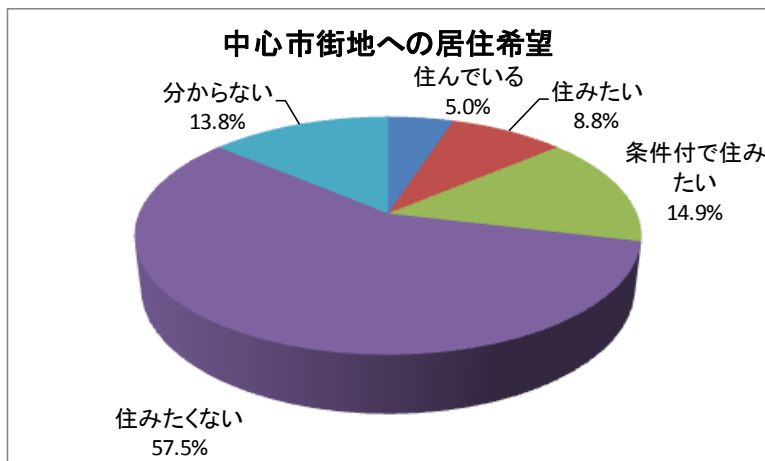
「飲食」・・・「飲食店の店舗数増」「福井らしい食（魚介、蕎麦など）を楽しめる施設の設置」など
「行政等の公共サービス」・・・「公共サービスの休日利用」「公共施設の中心市街地への再配置」など

- 「商業・娯楽」「交通」機能への関心は高いが、満足度は非常に低い。
- 「交通」機能では「電車」「バス」への満足度は高いが、「駐車場」には「無料化」「増設」などの要望が多かった。

(7) 中心市街地への居住希望

中心市街地への居住希望については、「住みたくない」が57.5%と半数以上を占める。

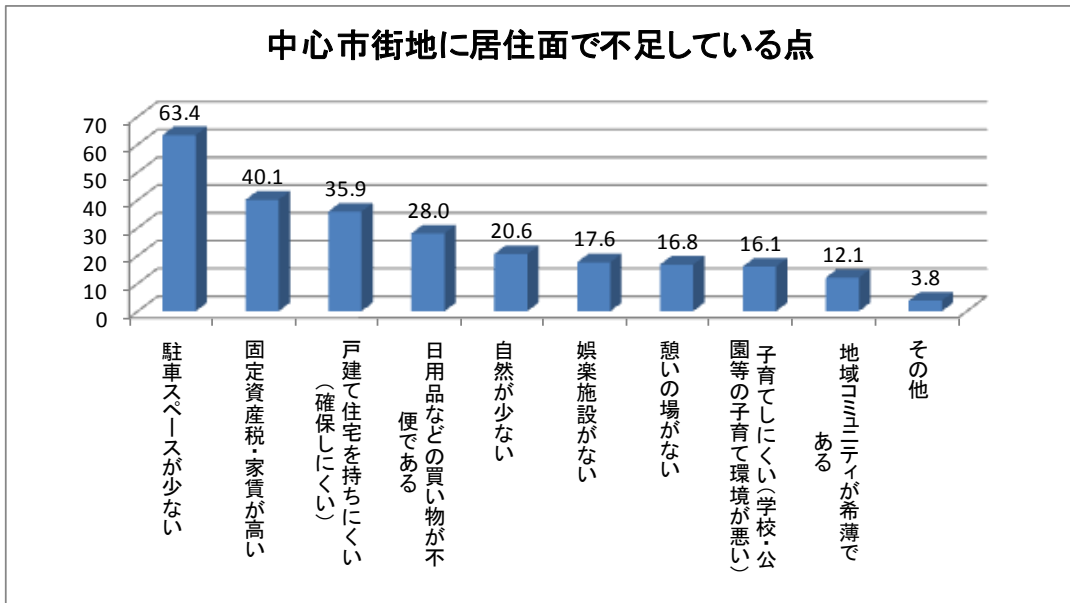
調査地点別に「中心市街地（福井駅、西武福井店）」と「郊外SC（エルパ、ベル、パリオ）」を比較すると、「中心市街地」来街者については、「住んでいる」が12.7%、「住みたい」が22.8%、「条件付きで住みたい」が18.3%であった。中心市街地に訪れている人は居住へのニーズも高い。（「郊外ショッピングセンター」来館者では、中心市街地に「住んでいる」（7.9%）、「住みたい」（13.1%）、「条件付で住みたい」（17.5%）であった。）



(8) 中心市街地に居住面で不足している点(複数回答)

中心市街地に居住面で不足している点については、「駐車スペースが少ない」が63.4%と、最も多かった。続いて、「固定資産税・家賃が高い」が40.1%、「戸建て住宅を持ちにくい（確保しにくい）」が35.9%、「日用品などの買い物が不便である」が28.0%であった。

その他意見としては、「家電量販店・医療福祉施設の不足」「自動車等の交通量が多い、公共交通機関の運行本数が少ない」などが挙げられていた。



(9)街づくり活動への関心度

街づくり活動への関心度については、「関わりたい」「内容次第で関わりたい」を合わせても、1割であった。

